

令和7年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

# 帯小の窓

通いがい、通わせがいある学校、今日もおもしろかったな

## ～ 学校教育目標 ～

- よく考え、意欲的に学ぶ子
- 命を大切に、たくましくやりぬく子
- 豊かな心を持ち、協力し合う子
- 勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO. 29 令和7年12月11日 発行

校長 黒島 俊一

## 元気いっぱい帯小の子の2学期のまとめ

2学期の登校日が残り少なくなり、学習のまとめが最終盤となりました。各学級では、子供たちの手によるお楽しみ会やクリスマス会の企画・運営なども進められ、教室からはみんなと一緒に楽しく過ごしている子供たちの声が聞こえてきます。

一方で、学級閉鎖措置が先月後半の1年生を皮切りに、今週になってから5年生、そして2年生にも広がり、これで今年度になって閉鎖学級が3クラス目を数えます。手洗い、やうかいの励行、服装への配慮、またマスク着用等、できる感染対策、予防対策等を、ご家庭と学校でともに進めていきたいと思います。年末にかけて予断を許しません。



さて2学期終了を前に、16日間の冬休み中にも計画がある『家庭学習』や『宿題』について考えてみましょう。

学校では、学年の段階に応じて、学習の意欲付け、習慣付けのために日常的に工夫して子供たちに課題を与えています。今回の学校評価アンケートの中でもお尋ねしていますが、この「学習意欲」や「学習習慣」は、お子さんの学力の定着と向上を図るための大きなポイントになります。学校ではそのために、ICTを活用した個別最適な学び、協働的な学習を基盤にしたよくわかる授業、「学習意欲」を高める授業づくりに努めているところですが、お子さんの2学期の学びの様子はいかがでしょうか。

『エビングハウスの忘却曲線』という学説によりますと、人間は学習してから20分後にはその内容の60%程度しか憶えていない、翌日には30%も憶えていない、つまり70%は忘れてしまうということです。これは、「忘れる」ということは脳の構造上仕方がないこと、とも言えることです。そこで重要になるのが、忘却を食い止めつつ、確実な定着のために進める「家庭学習」や「宿題」なのです。せっかく勉強したことを、いかに頭に記憶として残しておくかは、毎日の反復学習が重要であるということです。

間もなく冬休みに入ります。ご家庭では年末年始をはさみ、どんな冬休みを計画されているのでしょうか。親戚が集まったり、どこかへみんなで行ったり、また家族の一員としては家の大掃除、そのお手伝いをするのかもしれない。何かとせわしい年末年始ですが、夏に比べ、とても短い冬休みです。ぜひお子さんへお声かけいただき、ご家族一緒に冬休み中のいい計画を考えてほしいと思います。



(写真右 6年生を中心とした秋の落ち葉集めのメンバーは、冬の雪かきメンバーに転じて、朝の登校時に頑張ってくれています。これが「本職」と張り切っているのは、頼もしい限り。いつもありがとうございます。)

### ※ 学校評価にご協力ありがとうございます(スマホで「プチッ」と、最後のお願い)

- ・後期の学校評価へご協力ありがとうございます。
- ・みなさんの声、気づき、思いが、学校をよりよく変えていく改善の手がかりとなり、また本校教職員の励みにもなります。
- ・まだお済みでない保護者の皆さんは、ぜひともお声を聞かせて下さい。保護者・地域のみなさんとともに頑張ってきた、学校の下半期2学期の取組に対し、様々な視点と細やかな目で、お子さんの姿を通して、振り返っていただきますようお願いいたします。
- ・アンケートは1～2分程度で完了。お時間はおかけしません。右の二次元コードでどうぞ。



<https://forms.gle/wcqHh1u8aadq5R869>

## 参観日へのご来校 誠にありがとうございます

学期末の3日日程の参観日は、降雪によりお足元の悪い日もありましたが、保護者のみなさんに多数ご来校いただきました。ありがとうございます。

お子さんの頑張り、また学級の学ぶ雰囲気はいかがだったでしょうか。集中度を高めて、担任の指示にはもちろん、友達の発表に対してもタイミングよく、また温かく反応している姿、タブレットを使いこなしながら、互いに高め合う、よい表情と雰囲気の子供たちが見られたのではないのでしょうか。

3日(水)の1～3年生の授業参観では、今年度第2回目の学校運営協議会(コミュニティスクール運営協議会)のみなさんの参観もありました。委員の皆さんからも、子供たち、先生方の頑張りや学びの質の高さについて、評価を頂いたところです。

今後も学校教育の強みである「集団での学び合い」をより高めていくため、ご家庭と連携しながら教師の指導力を高めてまいります。

2学期登校日数は、残り8日間となりました。

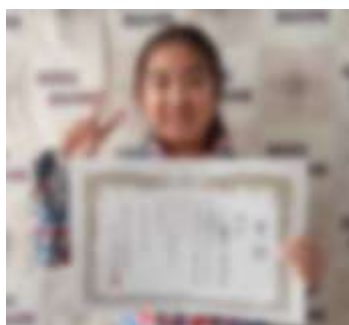
## 130周年記念シンボルマーク この中から決まります

来年令和8年度に開校130周年を迎える本校は、これまでもお知らせの通り周年記念事業を予定しています。その一環として、10月にシンボルマークを全校の子供たちに募集したところ、全部で76点もの応募があり、過日協賛会(事業部)で上記8つの作品が選考されました。現在全校による投票を集約中で、後日、「原画」として決定される運びです。

原画として決定された作品は、今後作成予定の「記念看板」(120周年看板は、現在も児童玄関前に掲示されています)や「周年記念誌」等にも活用される予定です。応募された76作品は、どの作品も帯広小学校のイメージをうまく織り込んでいるもので、感心しています。この8点からも選ぶのに迷ってしまいます。

- 冬のサッカーフェスティバル 3年生クラス 3位 帯広中央FC(写真中央)  
目黒圭太良さん 平田 駿介さん、本宮 匡さん、松田 蓮成さん、渡部 叶翔さん  
きらきらさん、2度目の登場 すっかり上位入賞常連チームですね。
- 第56回おびひろ菊まつり小学生書道展 金賞 4年櫻田 紫恩さん(写真左)  
きらきらさん、2度目の登場。もう書の達人ですね。
- 帯広市役所主催 平和の絵コンクール 優秀賞 3年可児 芽生子さん(写真右)  
ポスター絵の達人、市のポスターに採用掲載されるとのこと。

帯広小の  
今日のきらきらさん



上写真 参観日授業風景、4年理科の専科授業から。  
水が凍っていく様子を、定点カメラで収めた映像に興味津々。



お子さんの体調はいかがですか。みんなでうがい手洗い風邪予防を！